

まちづくり、
くらしの情報
を届けます

相馬
ゆうこの

南千住レポート



区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627
FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
☎・FAX:3807-4192



・HP→
・Twitter @m1010_yuko
・araken-nan.jugem.jp



新年度「過去最大」くらし・営業・いのちを守る予算に

6日(火)、荒川区の新年度予算案が発表され、一般会計1219億円（前年度比+85.3億円・7.2%増）と過去最大に。15日から区議会で審議が始まります。



防災対策

「防災対策」では、能登半島地震もあり、共産党区議団が



求めてきた耐震助成の対象拡大を実施、新耐震基準（1981年6月1日～2000年5月1日築）の建物も対象にします。

新年度予算は
過去最大

1219億円

重点施策発表

安心・安全	災害対策の充実 (避難所開設キット導入、備蓄の充実、耐震助成の拡充)	1.4億
	交通安全対策の充実(交通園リニューアルなど)	7616万
	私道の安全対策(街灯LED化、電柱移設の支援)	3109万
子育て支援	不登校支援(フリースクール授業料補助など)	2735万
	小学校英語の充実	7763万
介護・福祉	たんぽぽセンター(児童発達支援)の拡充	1.1億
	介護サービスの人材確保、定着支援 (ケアマネ資格費用、研修費用の補助など)	1914万
	障がい、難病の方の移動支援 (通院の交通費補助、福祉タクシー券の対象拡大)	2487万
	認知症の徘徊対策	114万
健康	がん対策の推進 (アピアランスケア、男性へのHPVワクチン助成など)	5.4億
	令和あらかわクリニックの建替え、充実	2.2億
	歯科健診、若年健診の拡充など	2936万
環境	健康づくりアプリの導入	2104万
	アプリで区民参加の生き物図鑑づくり	285万
文化・スポーツ	食品ロス削減の推進	405万
	南千住図書館・ふるさと文化館のリニューアル	6411万
産業	荒川遊園スポーツハウスのリニューアル	4707万
	「俳句のまち宣言」10周年事業	1139万
	若者の企業支援、空き家活用事業の促進	2941万
	日暮里関連の観光、イベント実施	1055万

また、円滑な避難所開設のため手順書や案内サインなどが一式になった「避難所開設キット」の導入、備蓄物資に要配慮者用のエアマット(9,800個)、歯ブラシ(7.8万本)等を新たに追加し、簡易トイレを38万→68万個に増加します。

子育て・福祉

フリースクールに通う子どもの授業料補助やがん患者のウィッグ・胸部補整具などの費用新設、小6～高1の男子のHPVワクチン費用の助成を開始するなどいっていの前進も。ケアマネ資格取得の費用全額助成も継続します。



ふくらむ建設費 積立は継続

一方、三河島と西日暮里の駅前再開発

による建設事業費の増(前年度比+60.8%)、本庁舎建替えに昨年度に続き12.5億円を基金(区の貯金)に積み立てる計画です。



共産党区議団は、物価高騰のなかで区民のくらし・営業・いのちを守り、さくらバス助成なども提案します。27日(火)～3月11日(月)まで予算特別委員会で審議を行います。みなさんのご意見をお寄せ下さい。

補聴器購入助成・安全杖の対象拡大～さらに充実を

補聴器購入費助成と「交通安全杖」の支給について、これまでの所得制限を廃止し対象を拡大します。

聞こえが大切 区の補聴器購入費用の助成は、対象を「65歳以上で加齢により補聴器を必要とする方で「年間所得350万円以下」の制限がありました。新年度から所得制限を撤廃し、65歳以上のすべての方を対象とします。

「年間所得が
350万円以下」

所得要件
なしに



補助額は片耳のみ・上限25,000円ですが、実際には両耳とも必要な場合が多く、標準的なものでも約30～40万円ほどかかります。認知症防止や生活支援にも補聴器は大切、補聴器の調整費用なども含め実態にあった補助額の引き上げが必要です。助成には都から区への補助があり、実際の区の負担は補助額の半分です。引き続き本議会、委員会でも訴えます。



「交通安全つえ」 65歳以上で歩くのにつえが必要な方に支給する「交通安全再支給も可」全杖についても、「非課税」の要件を撤廃。さらに、支給後3年間が経過した方へ再支給を可能にします。

「ふろわり200」65歳からに 週1回、区内銭湯を200円で利用できる入浴カード（ふろわり200）の対象を、新年度から「65歳以上」に拡大します（現在は70歳以上）。満65歳になる誕生月の初日から利用できます。申請は区役所2階の高齢者福祉課か、郵送でも。「近隣区も利用可に」「回数をふやして」など要望も。実現に頑張ります。



各事業の申請・問合せは…高齢者福祉課 高齢者福祉係 ☎03-3802-3111（内線：2675）

あちこちで大雪の影響～大丈夫でしたか



5日、東京でも6cmの積雪に。翌日6日午前11時までに、区内で120人が雪で転倒し病院搬送。お家の前を雪かきしたり、区内でも雪の重みで木が倒れるなどの被害も。お仕事は休めず、積もった雪を踏みしめて通勤など、みなさん大丈夫でしたか。

改めて、移動手段として身近なバスの大切さも感じます。

〈法律・生活相談〉

3月の定例法律相談日は 14日(木)です

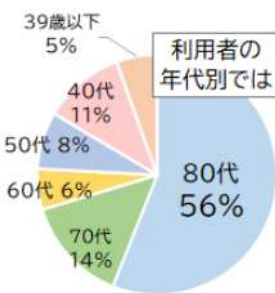
ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後15時に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

デマンド交通の利用伸びず…3月末で実験終了

さくらバスの町屋ルート廃止後、区は代替手段として昨年7月～今年3月までの9か月間、「デマンド交通（乗合タクシー）」の実証実験を行っています。

昨年12月末までの6か月間で、運行日数123日で予約数は91件。利用者



(延べ)の年代別では、「80代」56%・「70代」14%で、70代以上が7割に。

また、時間帯別では「10時台」が61%など、午前中の利用が約9割に。高齢の方の通院のための駅利用や、買い物などの目的での利用が多いようです。

利用の実人数 24名にとどまる

登録者数 131名
のうち
実際の利用者は
24名



1回のみ	…14名
2～4回	…5名
5～9回	…4名
10回以上	…1名

しかし、利用登録者数131名のうち約3割が区外からの登録で、実際に利用した方は24名。そのうち半数以上が「1回のみ」で、定期的に利用している方は10名です。「シルバーパスや障がい者減免が使えない」



「タクシーなのに降車場所が決められていて不便」などの声もあり、どこに使いにくさを感じているか聞き取りを行って改善も必要。

区は当初、「1日当たり利用者が平均20人以上なら本格運行に移行」としていましたが、12月までの平均利用者数は「0.83人/日」でタクシー事業者からは「体感としては2～3日に1～2人が利用」

との声も。廃止された「町屋さくら」の乗車数は多い時で1日あたり約600人、廃止直前でも約300人で、デマンド交通が代替手段として機能するとはとてもいえません。

利用者の調査と本気の検討を

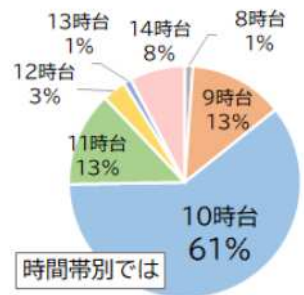
運行実験は「3月いっぱい終了」の予定で、今後の支援策は未定。デマンド交通を「区全域を対象とした交通手段に」としていましたが非現実的です。さくらバス利用者の要望を丁寧に聞き取る調査と、移動手段の確保の本気の検討が求められます。



相馬ゆうこ事務所で「さくらバスアンケート」を行います…ご協力お願いします。

「デマンド交通（乗合タクシー）」実証実験

- ・区間 荒川清掃事務所～町屋駅
- ・期間 7月3日～翌3月末までの9か月間（3事業者が3か月間ずつ）
- ・運賃 1回大人300円・小人150円（未就学児は無料）
- ・運行曜日 平日のみ（土日祝は運休）
- ・運行時間 8～13時（2往復/1h、1日あたり20便）
- ・利用方法 スマホアプリ又は電話で事前に予約



朝の一仕事

朝の駅前で「1時間もしないでこんなに集まった」と、散乱したゴミを集めた袋を見せて頂きました。駅前も周辺もきれいに。ありがとうございます。



台東区は放置自転車対策とともに清掃を実施しているよう。荒川区は、「ごみ対策は環境課所管で放置自転車対策とは別」と朝の清掃はなし、変な縦割りの再検討を。

来年度の学童申し込み状況～2か所で超過も

南千住地域の来年度の学童クラブ申請は、定員670人に637人（下表）の申込みがありました。「南千住六丁目」と「汐入小」の2か所が今年度に続き申請超過で、六丁目学童は第一・第二と二瑞小、汐入小学童は汐入へ、それぞれ利用調整が行われる予定です。

	定員	申請数	差引
南千住第一・第二	120	103	△17
南千住六丁目	110	126	16
汐入	110	97	△13
二瑞小	70	51	△19
汐入小	130	154	24
汐入東小	90	80	△10
東日暮里	40	26	△14
計	670	637	-

学校選択制により学区外から通う子どももいるなか、学童はこれまで複数か所から選ぶことができましたが、区は「三瑞小は六丁目学童」「瑞光小は第一・第二学童」に制限。



しかし申請超過で調整が行われ、結局、複数の学童に分散せざるをえないのが現状です。

ゆとりある 保育環境を

この間、南千住では四丁目学童が廃止・六丁目学童が開設される中で、「通学実態に合わせて希望する学童を選んで入れるように」と求めてきました。

受け入れできないのは困りますが、大規模学童がふえ厚労省のガイドラインを超える状況も。選択方法の見直しや学校内学童の検討など、詰め込みでなくゆとりのある保育環境づくりを、あらためて求めます。利用者のみなさんのご意見をお寄せください。

厚労省ガイドラインでは…
「集団規模はおおむね40人程度
までとすることが望ましい」
(最大70人までとすること)



日比谷線全駅にホームドア設置



日比谷線南千住駅のホームドアがついに設置されました。1

月20日に1番線（中目黒方面）、28日に2番線（北千住方面）が設置され、まだドアは開いた状態ですが、3月下旬から稼働開始とのことです。

東京メトロは、日比谷線のホームドア設置について、全車両を「3扉8両編成」→「4扉7両編成」の新車両に置

き換え後に実施する計画で遅れていましたが、これで日比谷線全駅で完了です。



日比谷線のホームドア設置状況(南千住だけまだでした)

ご意見・ご質問頂きました ○雪がやんだ朝のお話…「夜から雪がつもり雷も鳴って、明日は電車が動かなければ通勤もどうなるのか心配。いっそのことお休みしようかな?と考えていましたが、出勤したら利用者の皆さんが待ち構えていて…」雪が降り、足元が悪くても待っていてくれる利用者さんがいるのですね。ご苦労様です。○学校のこと、保育園のこと、子どもたちの成長にとって不安なこといろいろご相談があります。高齢の方からの切実な暮らしのご相談も。個人責任ではないと思うことばかりで、できることから改善するのが、私たちの役割ではと、がんばります。

